

2023年2月28日 Vol.210

1-3月IPOは一気に16銘柄

前号においては今年1-3月のIPO銘柄数について昨年の15銘柄を下回るようなニュアンスでお伝えしましたが、その後、銘柄が追加され16銘柄と昨年を上回るようになりました。昨年のIPOは2月3日のRecovery(9214・G・訪問看護サービス)から始まりましたが、残念ながら公開価格3060円に対して時価は1800円台と大きく値下がり。これに続くセイファート(9213・S・美容サロン向け人材支援)も時価は公開価格を下回っており、今年も1-2月のIPO2銘柄には初値やその後の高値形成後の調整の動きが見られます。今年の第1号IPO銘柄は1月26日のテクノロジーズ(5248・G)でしたが、これに続き2月22日にはプライム・ストラテジー(5250・S)が上場。いずれの銘柄も初日には寄らずにスタートするなど賑やかでホットなIPO市場の姿が戻ってきたとの印象でしたが、その後は波乱の展開が見られます。

IPO銘柄投資にとって大事なものは数よりも中身。既に本サイトや開示資料をご覧になっている皆さんも多いかと思いますが筆者が吟味したところによると3月22日以降登場するIPO銘柄もなかなかユニークな銘柄が含まれているようです。

まず利益成長の視点では雑誌「ハルメク」、動画や講座の配信サービス「ハルメク365」を提供する「情報コンテンツ」事業、物販事業を展開するハルメクHD(7119・G・3月23日公開)の伸びが顕著で、前3月期経常利益11.7億円が今3月期3Q経常利益20億円と急拡大しており、注目が集まりそうです。また、同日IPOのアイビス(9343・G)もモバイルペイントアプリの開発、サービス運営を行うモバイル事業の成長で業績拡大中。ソフトウェアのテスト・品質検証サービスを行う日本ナレッジ(5252・G)は1985年の設立で比較的社歴が古いという印象ですが、業績拡大中でSHIFT(3697)など既存の比較上場企業が急成長で高い評価を受けており、注目される要素がありそう。また、VTuberのキャラクターIP開発やVTuberプロダクション運営を行うカバー(5253・G)はVTuber関連で2社目のIPO。EPSは3Qまでで21.5円に留まるが業績急拡大中で関心は高いと推察。

DXにかかるデジタルコンサルティング事業を展開する2006年設立のモンスターラボHD(5255・G)は28日にIPO予定。25社の連結子会社の持株会社で売上拡大中だが利益はまだ赤字。日本郵政キャピタル、パソナが株主。VC保有株も多い点はネックと言えます。3月31日に上場予定なのが障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービス事業を展開するコルポート(9346・G)で2012年設立。川崎に本社を置き業績急拡大中。社員数627名で社長はリクルート出身。4月4日には電子マネーを中心としたキャッシュレス決済サービスを展開する三菱商事系のトランザクション・メディア・ネットワークス(5258・G)がIPO。トヨタ系の金融子会社も株主に入っており、注目されそうだ。

(東京IPOコラムニスト 松尾範久)